

# 取扱説明書

# DuraVision® FDF2121WT-A タッチパネル装着カラー液晶モニター

# 重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお 読みになり、正しくお使いください。

- ・モニターの設置 / 接続については、セットアップマニュアルを参照してく ださい。
- ・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できま す。

www.eizo.co.jp

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾 を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありま したら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任 も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。 この製品を筐体組み込みなどで使用する場合は当社にお問い合わせください。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。 This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いた します。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

モニターの表示が安定するまでに、約30分(当社測定条件による)かかります。モニターの調整は電源を入 れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがありま す。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機 能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、 画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意くだ さい。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします (「クリーニングの仕方」(P.4)参照)。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合が ありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、 バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点 灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露 が生じることがあります(結露)。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ち ください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

(タッチパネル使用時の注意事項)

・タッチ操作時

- 次の点に注意してください。故障または誤作動の原因となります。
- パネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
- ボールペンや金属類などの硬い物でパネルをタッチしないでください。
- 画面の黒い縁の部分を触れないでください。
- パネルまたはパネルの黒い縁の部分に、テープなどを貼らないでください。
- パネルに液体が付着した場合は、直ちに拭き取ってください。
- パネルとパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。

# クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

. . . . . . . . . . . .

# 注意点

- ・タッチパネル面とタッチパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。
- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などに つながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しない でください。

参考

 キャビネットや液晶パネル面のクリーニングにはScreenCleaner(別売オプション品)をご利用いただくことをお 勧めします。

# モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニ ター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

# 目次

モニター	-について3	3-6.	設定メニューの位置を変更する21
クリー	-ニングの仕方4	3-7.	表示言語を設定する22
モニタ	マーを快適にご使用いただくために4	3-8.	初期設定に戻す22
			カラー調整値をリセットする
日次		•	すべての設定内容をリセットする22
第1章	はじめに7	第4章	タッチパネルの設定23
1-1	性長 7	4.1	クッチパラルのキャリブレーションをオス 22
		4-1.	ダッテハネルのキャリフレーションをする23
1-2.	EIZO LCDユーティリティティスクについて7	4-2.	タッチパネルの操作設定をおこなう25
•	ディスクの内容と概要7	第5章	省電力機能について26
1-3.	基本操作と機能一覧8		
	設定メニューの基本操作方法8	5-1.	ハワーセーフを設定する
•	機能一覧9	•	モニター
第2章	画面を調整する10		音声出力27
		5-2.	電源ランプの表示を設定する27
2-1.	カラーを調整する10	5-3.	モニターの自動電源切断機能を設定する27
•	表示モード(FineContrast(ファインコ		
	ントラスト)モード)を選択する10	<b>弗</b> 0 早	こんなどさは
	詳細な調整をする11	6-1.	画面が表示されない場合28
	各モードの調整項目11	6.2	南天に明まて広場(ごジャル・マナロダサ
	フライトネス(明るさ)を調整する11	0-2.	画面に関する症状(デンダル、デブログ共 通) 20
	コントラストを調整する12		)
	巴温度を調整する	<mark>6-3.</mark>	画面に関する症状(アナログのみ)30
	カノ≺を調至9る	6-4.	タッチパネルに関する症状31
	巴の <u><u></u> にで 調整する </u>	6 5	その他の存状 22
	こしいで	0-5.	その他の症状
		第7章	· ご参考に
2-2.	画面を調整する	7-1.	オプションアーム取付方法
	デジタル信号入力の場合15		
	バナロク信号人力の場合15	7-2.	夜数のコンビュータを接続する
2-3.	画面サイズを切り替える19	•	入力信号を切り替える
•	画面サイズを切り替える 19	•	入力信号の切替方法を設定する
•	画像の非表示部分の明るさを変える19	7-3.	モニター情報を表示する36
第3章	モニターを設定する20	7-4.	プリセットタイミング
3-1.	音量を調整する20	第8章	用語集
2,2	DisplayPort信号入力時の空酒を切り抜きる。20	(+03	
J-2.		11 東東	
5-3.	レレC/CI週間の有別/無別を設定9る20		
3-4.	操作ボタンをロックする21		
3-5.	EIZOロゴを表示/非表示にする21		

商標	40
ライセンス / 著作権	40
VCCI	40
その他規格	40
中国RoHS	41

# 第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

# 1-1. 特長

- ・21.5型ワイド画面
- 解像度1920×1080対応
- タッチパネル標準装備
  - 超音波表面弾性波方式を採用
  - 対応OS<sup>※1</sup>: Microsoft Windows 11 / Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 ※1 OS提供元のサポート終了にともない、当社のサポートも終了します。
  - Microsoft Windows 11 / Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 のWindowsタッチ機能(マル チタッチ)に対応しています。<sup>※2</sup>
  - ※2 この製品は2点までのマルチタッチに対応しています
- ・3系統信号入力搭載(DVI-D×1、DisplayPort×1、D-Sub×1)
  - DisplayPort対応(8bit対応)<sup>\*3</sup>
     映像信号と音声信号を、1本のDisplayPortケーブル(オプション)で伝送できます。
     \*3 DisplayPortケーブルを使って音声信号を伝送する場合、ご使用のグラフィックスボードが、音声出力に対応している必要があります(セットアップマニュアル「仕様」参照)。
- ・ FineContrast(ファインコントラスト)機能を搭載し、表示画像に適した表示モードを選択可能
- ・ベゼルのフラット化により、スムーズなタッチ操作が可能
- ・薄型、軽量化により、省スペースを実現
   手軽に移動、位置調整が可能です。
- ・省電力機能 消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。この製品は省電力のための機能を搭載しています。
  - 主電源オフ時消費電力0W 主電源スイッチを装備。
    - モニターを使用しない時は、主電源スイッチを切ることで、確実に電源供給が停止します。
- ・HDCP(著作権保護技術)により保護されたコンテンツを表示可能

# 1-2. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」(CD-ROM)が付属しています。ディスクの内容や ソフトウェアの概要は次のとおりです。

# ● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法 はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

内容	概要		
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。		
モニターの取扱説明書(PDFファイル)			
Readmeja.txtファイル			

# 1-3. 基本操作と機能一覧

# ● 設定メニューの基本操作方法

# 1.設定メニューの表示

1. ENTER を押し、設定メニューを表示します。



. . . . . . . .

# 2. 調整/設定

1. ▲▼で、調整/設定したいメニューを選択し、ENTERを押します。サブメニューが表示されます。

力 <sup>.</sup>	ラー調整(Use	er1)	
戻る			
ブライトネス	[	100	]
コントラスト	[	50	]
色温度	[	オフ	]
ガンマ	[	2.2	]
詳細設定			
カラーリセット			

2. ▲▼で、調整/設定したい項目を選択し、ENTERを押します。調整/設定メニューが表示されます。



3. ▲▼で、調整/設定し、ENTER を押して確定します。

# 3.終了

- 1. サブメニューで「戻る」を選択し、ENTERを押します。設定メニューが表示されます。
- 2. 設定メニューで「メニューオフ」を選択し、ENTERを押します。設定メニューが終了します。

参考

・ENTERをすばやく続けて2回押しても設定メニューを終了させることができます。



設定メニューおよび各メニューの設定項目の一覧表です。

メインメニュー		項目	参照先
カラー調整 <sup>※1</sup>	ブライトネス		「2-1. カラーを調整する」 (P.10)
	コントラスト		
	色温度		
	ガンマ		
	詳細設定	色の濃さ	_
		色合い	_
		ゲイン	
	カラーリセット		「カラー調整値をリセットする」(P.22)
画面調整	画面サイズ		「画面サイズを切り替える」 (P.19)
	スムージング		「2-2. 画面を調整する」(P.15)
	アナログ調整 <sup>※2</sup>	自動画面調整	
		自動レンジ調整	
		クロック	
		フェーズ	
		水平ポジション	
		垂直ポジション	
サウンド設定 	音源		「3-2. DisplayPort信号入力時の音源を切り替える」(P.20)
	パワーセーブ		「音声出力」(P.27)
PowerManager	パワーセーブ		「5-1. パワーセーブを設定する」(P.26)
	Ecoタイマー		「5-3.モニターの自動電源切断機能を設定す
本体設定 	人力信号		「人力信号の切替方法を設定する」(P.36)
	電源フンノ 		5-2. 電源フンノの表示を設定する] (P.27)
	言語選択		「3-7. 表示言語を設定する」(P.22)
	DDC/CI		「3-3. DDC/CI通信の有効/無効を設定する」
			(P.20)
	ボーダー		「画像の非表示部分の明るさを変える」 (P.19)
	メニュー設定	起動ロゴ	「3-5. EIZOロゴを表示/非表示にする」 (P.21)
		メニューポジション	「3-6. 設定メニューの位置を変更する」 (P.21)
	リセット		「すべての設定内容をリセットする」 (P.22)
インフォメーション			「7-3. モニター情報を表示する」(P.36)

※1 「カラー調整」で調整/設定できる機能はモードにより異なります(「各モードの調整項目」(P.11)参照)。

※2 アナログ信号入力の場合に調整できます。

# 第2章 画面を調整する

# 2-1. カラーを調整する

# ●表示モード(FineContrast(ファインコントラスト)モード)を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

### モードの種類

モード	目的
User1	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
User2	
sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。



# 設定方法

1. MODE を押します。

モードメニューが画面左下に表示されます。

MODE を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。
 モードメニュー表示中は、▲または▼を押してモードを切り替えることもできます。

┌──→User1←→User2←→sRGB←─┐

参考

・設定メニューとモード名を同時に表示させることはできません。

# ● 詳細な調整をする

設定メニューの「カラー調整」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

#### 注意点

- ・製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経 過するまでお待ちください。
- ・アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください(「色階調を自動調 整する」(P.18)参照)。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

# ● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。(調整/設定できない機能は選択できません。)

○:調整可 一:調整不可

機能名		FineContrast(ファインコントラスト)モード			
		User1	User2	sRGB	
ブライトネス		0	0	0	
コントラスト		0	0	—	
色温度		0	0	—	
ガンマ		0	0	—	
詳細設定	色の濃さ	0	0	—	
	色合い	0	0	—	
	ゲイン	0	0	_	
カラーリセット		0	0	0	

# ● ブライトネス(明るさ)を調整する

バックライト(液晶パネル背面の光源)の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

#### 設定範囲

0~100

# 設定方法

- 1. ▲/☆を押します。
- 2. ▲または▼で設定します。
- 3. 設定が完了したら ENTER を押します。

#### 参考

・ブライトネスが100でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。

・設定メニューの「カラー調整」ー「ブライトネス」で調整することもできます。

# ● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

#### 設定範囲

0~100

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 「カラー調整」で「コントラスト」を選択し、ENTERを押します。
   「コントラスト」が表示されます。
- 3. ▲または▼で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

### 参考

- ・50ですべての色階調を表示します。
- ・
   画面の明るさは、初めに、
   階調特性を損なうことのないブライトネスで
   調整することをお勧めします。
- ・コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
- ブライトネスが100でも画面が暗いと感じたとき。(コントラストを50以上に設定します。)

# ●色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K:Kelvin(ケルビン)という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、 色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

### 設定範囲

オフ、4000K~10000K(500K単位、9300K含む)

### 設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「色温度」を選択し、 ENTER を押します。 「色温度」が表示されます。
- 3. ▲または▼で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

#### 参考

- ・「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- ・「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です(「ゲインを調整する」(P.14)参照)。
- ・「オフ」でパネル本来の色(ゲインの値はRGB各100)になります。
- ・ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

# ● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入 力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制 御をおこなうことをガンマ補正といいます。

#### 設定範囲

1.8、2.0、2.2

# 設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「ガンマ」を選択し、ENTERを押します。
- 「ガンマ」が表示されます。
- 3. ▲または▼で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

# ● 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-50~50

# 設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「詳細設定」で「色の濃さ」を選択し、ENTERを押します。 「色の濃さ」が表示されます。
- 4. ▲または▼で設定します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

#### 注意点

・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

・最小値(-50)で白黒の画面となります。

# ●色合いを調整する

色合いを調整します。

#### 設定範囲

-50~50

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、 ENTER を押します。
- 「詳細設定」で「色合い」を選択し、ENTER を押します。
   「色合い」が表示されます。
- 4. ▲または▼で設定します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

#### 注意点

・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

# ● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の 色調を変更することができます。

### 設定範囲

0~100

# 設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
- 「詳細設定」で「ゲイン」を選択し、ENTERを押します。
   「ゲイン」が表示されます。
- 4. 赤、緑、青それぞれの値を▲または▼で設定します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

### 注意点

・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ・ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

# 2-2. 画面を調整する

# ● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、文字や 線がぼやけている場合は、「文字や線のぼやけを直す」(P.18)にお進みください。 さらに詳細な調整をおこなう場合は「2-1.カラーを調整する」(P.10)以降を参照してください。

# ● アナログ信号入力の場合

# 注意点

- ・製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経 過するまでお待ちください。
- ・解像度800×600(SVGA)未満の信号ではセルフアジャスト機能(自動画面調整機能)は働きません。
- セルフアジャスト機能/自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく 動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
- コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
- 壁紙など背景を黒で使用している場合

また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位 置やサイズを正しく調整するためのものです。

#### 参考

次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。

- モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、 水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくため に、次の設定手順に従って画面を調整してください。

# 設定手順

# 1.自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

### 設定方法

- 1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「アナログ調整」で「自動画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 4. ▲または▼で「はい」を選択し、ENTERを押します。

自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。 正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」(P.18)にお進みください。

# 2.アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCDユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開き ます。

参考

・「画面調整パターン集」の開き方および内容については、Readmeja.txtファイルを参照してください。

# 3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

#### 設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン1を画面全体に表示します。



- 2. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 4. 「アナログ調整」で「自動画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 5. ▲または▼で「はい」を選択し、ENTERを押します。 自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。 正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」(P.18)にお進みください。

# 4. 設定メニューの「画面調整」で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

縦縞を消す

#### 設定方法

- 1. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 「アナログ調整」で「クロック」を選択し、ENTERを押します。
   「クロック」が表示されます。
- ▲または▼で縦縞が消えるように設定します。
   設定が合ったポイントを見逃しやすいので▲▼をゆっくり押して設定するようにしてください。
- 設定が完了したら ENTER を押します。
   設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる」にすすみ設定を おこなってください。



### ちらつきやにじみをとる

### 設定方法

- 1. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 「アナログ調整」で「フェーズ」を選択し、ENTERを押します。
   「フェーズ」が表示されます。
- 3. ▲または▼で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
- 設定が完了したら ENTER を押します。
   設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す」に戻り、再度設定をおこなってください。
   (クロック→フェーズ→ポジション)



#### 注意点

・お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

● 表示位置のずれを直す

#### 参考

液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

### 設定方法

- 1. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 「アナログ調整」で「水平ポジション」または「垂直ポジション」を選択し、ENTERを押します。

「水平ポジション」または「垂直ポジション」が表示されます。

- 3. 画像の位置が合うように▲または▼で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。



5. パターン1を閉じます。

# 5. 色階調を調整します。

色階調を自動調整する

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調(0~255)を表示できるように調整できます。

#### 設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン2を画面全体に表示します。



- 2. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 4. 「アナログ調整」で「自動レンジ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 5. ▲ または ▼ で「はい」を選択し、 ENTER を押します。 出力レンジが自動的に設定されます。
- 6. パターン2を閉じます。

# 6. 文字や線のぼやけを直します。

文字や線のぼやけを直す

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があり ます。

#### 注意点

 ・表示解像度によってはスムージングを設定する必要はありません。(スムージングアイコンを選択すること はできません。)

#### 設定範囲

1~5

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 「画面調整」で「スムージング」を選択し、ENTERを押します。
   「スムージング」が表示されます。
- 3. ▲または▼で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

# 2-3. 画面サイズを切り替える

# ● 画面サイズを切り替える

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に 歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直の どちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例:1024×768を表示した場合







(1024×768)

# 設定方法

- 1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「画面調整」で「画面サイズ」を選択し、ENTERを押します。 「画面サイズ」が表示されます。
- 3. ▲または▼で「フルスクリーン」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

# 注意点

・「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

# ▶ 画像の非表示部分の明るさを変える

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー(画像が表示されていない暗い部分) が表示されます。



# 設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。

- 「本体設定」で「ボーダー」を選択し、ENTERを押します。
   「ボーダー」が表示されます。
- 3. ▲または▼で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

# 第3章 モニターを設定する

# 3-1. 音量を調整する

スピーカーの音量を調整することができます。

設定範囲

0~30

設定方法

- 1. ▼/•)を押します。
- 2. ▲または▼で設定します。
- 3. 設定が完了したら ENTER を押します。

# 3-2. DisplayPort信号入力時の音源を切り替える

DisplayPort信号入力時の音源を切り替えます。ステレオミニジャック/DisplayPortが選択できます。

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTERを押します。
- 「サウンド設定」で「音源」を選択し、ENTERを押します。
   「音源」が表示されます。
- 3. ▲または▼で「ステレオミニジャック」または「DisplayPort」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

DisplayPort信号入力の場合に変更できます。

# 3-3. DDC/CI通信の有効/無効を設定する

DDC/CI通信の有効/無効を切り替えます(「第8章用語集」(P.38)参照)。

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 「本体設定」で「DDC/CI」を選択し、ENTERを押します。
   「DDC/CI」が表示されます。
- 3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

#### 参考

・この機種のDisplayPort入力はDDC/CIに対応していません。

# 3-4. 操作ボタンをロックする

設定した状態を変更できないようにします。

### 設定方法

- 1. 心を押して、モニターの電源を切ります。
- SIGNAL を押しながら 
   **ひ**を押してモニターの電源を入れます。 操作を実行するたびにロック/ロック解除が切り替わります。

#### 参考

・ロックした状態でも次の操作は可能です。

- 電源ボタンによる電源オン/オフ

# 3-5. EIZOロゴを表示/非表示にする

この製品の電源を入れたときに、EIZOロゴが表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「メニュー設定」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「メニュー設定」で「起動ロゴ」を選択し、ENTERを押します。 「起動ロゴ」が表示されます。
- 4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

# 3-6. 設定メニューの位置を変更する

設定メニューの表示位置を移動できます。

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「メニュー設定」を選択し、ENTERを押します。
- 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、ENTERを押します。
   「メニューポジション」が表示されます。
- 4. ▲または▼で位置を選択します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

# 3-7. 表示言語を設定する

設定メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

#### 選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、 中国語(簡体)、中国語(繁体)

# 設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「言語選択」を選択し、ENTERを押します。 「言語選択」が表示されます。
- 3. ▲ または ▼ で言語を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します

# 3-8. 初期設定に戻す

設定値を初期設定にリセットします。

### 注意点

・リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

・初期値については、セットアップマニュアル「主な初期設定値」を参照してください。

# ● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「カラーリセット」を選択し、ENTERを押します。
- 3. ▲または▼で「はい」を選択します。
- 4. ENTER を押します。

カラー調整値が初期設定になります。

# ● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します。

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「リセット」を選択し、ENTERを押します。
- 3. ▲または▼で「はい」を選択します。
- ENTER を押します。
   すべての設定内容が初期設定になります。

# 第4章 タッチパネルの設定

設定はWindowsのコントロール パネルでおこないます。

# 4-1. タッチパネルのキャリブレーションをする

## 注意点

・操作中に「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってください。

# 1. Windowsのコントロールパネルを開きます。

開き方はOSによって異なります。

### Windows 11

1. スタートメニューの「すべてのアプリ」-「Windowsツール」-「コントロールパネル」をクリックします。

### Windows 10

1. スタートメニューの「すべてのアプリ」-「Windowsシステムツール」-「コントロールパネル」 をクリックします。

## Windows 8.1

- 「スタート」画面下の ◆ をクリックします。
   「アプリ」画面が表示されます。
- 2. 「Windows システム ツール」内の「コントロール パネル」をクリックします。

### Windows 7

1. 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックします。

# **2.**「ハードウェアとサウンド」-「タブレットPC設定」(Windows 11 / Windows 10 / Windows 8.1)/「Tablet PC設定」(Windows 7)をクリックします。

「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」画面が表示されます。

🧃 Tablet PC 設定	
画面 その他	
構成 ペンとタッチ ディ	スプレイを構成します。 👘 セットアップ(S)
ディスプレイ オン	29a2
ディスプレイ:	1.
<b>  羊糸田</b> :	タッチ入力が可能
画面の向きの回	<ul> <li>調整(g)</li> <li>         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
	OK キャンセル 適用( <u>A</u> )

3. 「画面」タブの「セットアップ」をクリックします。

背景が白色のタッチスクリーン指定画面が表示されます。

### 注意点

 モニターをマルチモニター環境で使用する場合は、表示される画面に従って、タッチスクリーンを指定して ください。

# 4. 画面を指でタッチします。

タッチした画面がタッチスクリーンであることが認識されます。

# **5.**キーボードの「Enter」を押します。

「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」画面に戻ります。

### 6.「調整」をクリックします。

背景が白色のキャリブレーション画面が表示されます。

#### 注意点

モニターをマルチモニター環境で使用する場合は、「ディスプレイ」のプルダウンメニューでキャリブレーションをおこなうモニターを選択してから、「調整」をクリックしてください。

# 7.タッチマーカー(十字)を指で数秒間タッチして離します。

タッチマーカーは画面の左上、右上、左下、右下の順で16箇所表示されます。



参考

・2回目以降、タッチマーカーの表示は4箇所となります。

- 8. キャリブレーションが完了したら、「はい」をクリックして調整データを保存します。
- **9.**「OK」をクリックして画面を閉じます。

# 4-2. タッチパネルの操作設定をおこなう

# 1. Windows のコントロール パネルを開きます。

開き方はOSによって異なります。(P.23参照)。

2. 「ハードウェアとサウンド」-「ペンとタッチ」をクリックします。

「ペンとタッチ」画面が表示されます。

レ ペンとタッチ	×
ペンのオブション フリック 手書き	タッチーパン
ペン操作	
ペンを使って画面上の項目を排 ます(P)	!作してください。各ペン操作の設定を調整でき
ペン操作	相当するマウス操作
シングルタップ	シングルクリック
ダブルタップ	ダブルクリック
ブレス アンド ホールド	右切ック
	9 AGU
ペン ボタン 「マーペン ボタンを使用して右クリー 「マーペンの上部を使用してインク	y5の操作をする(R) を消去する (可能な場合)( <u>E</u> )
	OK キャンセル 適用(A)

「ペンとタッチ」画面でタッチパネルの操作設定をおこないます。設定の詳細は、各設定画面や Windowsのヘルプなどを参照してください。

**3.**設定が完了したら、「OK」をクリックして画面を閉じます。

# 第5章 省電力機能について

# 5-1. パワーセーブを設定する

# ● モニター

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電 カモードに移行すると画面を非表示にします。

#### 注意点

・主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。

・ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

参考

・信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。

# 設定方法

1. 設定メニューの「PowerManager」を選択し、ENTERを押します。

- 2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、ENTERを押します。 「パワーセーブ」が表示されます。
- 3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

### 省電力の流れ

### アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュ-	−タの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙
電源オフ		省電力モード	橙

# デジタル信号入力の場合

• DVI信号入力時

「DVI DMPM」に準拠しています。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙
電源オフ	省電力モード	橙

### 省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

# ● 音声出力

モニターの省電力モード時に、スピーカーから音声を出力する/しないの切り替えができます。 設定方法

- 1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTERを押します。
- 「サウンド設定」で「パワーセーブ」を選択し、ENTERを押します。
   「パワーセーブ」が表示されます。
- 3. ▲または▼で「サウンド オン」または「サウンド オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

# 5-2. 電源ランプの表示を設定する

画面表示時の電源ランプ(青)の点灯/消灯の切り替えができます。

#### 設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「電源ランプ」を選択し、ENTERを押します。 「電源ランプ」が表示されます。
- 3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

# 5-3. モニターの自動電源切断機能を設定する

モニターの省電力モードが一定時間続いたときに、モニターの電源を自動的に切る/切らないの切り替え ができます。

#### 設定範囲

オフ、0、1、2、3、5、10、15、20、25、30、45min、1、2、3、4、5h

# 設定方法

- 1. 設定メニューの「PowerManager」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「PowerManager」で「Ecoタイマー」を選択し、ENTERを押します。
- 3. ▲または▼で「オフ」またはモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

# 第6章 こんなときは

# 6-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法			
<ol> <li> <b>1. 画面が表示されない</b>         ・電源ランプが点灯しない         </li> </ol>	<ul> <li>・電源コードは正しく接続されていますか。</li> <li>・主電源を入れてください。</li> <li>・也を押してください。</li> <li>・主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。</li> </ul>			
<ul> <li>・電源ランプが点灯:青色</li> </ul>	<ul> <li>・設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、</li> <li>「ゲイン」の各調整値を上げてみてください(「詳細な 調整をする」(P.11)参照)。</li> </ul>			
<ul> <li>電源ランプが点灯:橙色</li> </ul>	<ul> <li>SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。</li> <li>マウス、キーボードを操作してみてください。</li> <li>パネル面にタッチしてみてください。</li> <li>コンピュータの電源は入っていますか。</li> <li>ご使用のコンピュータおよびグラフィックスボードに よっては、入力信号が検出されず、省電力モードから復 帰しない場合があります。マウス、キーボードを操作し ても面面が表示されない場合は、モニターの電源ボタン で電源を切って、再度電源を入れてください。画面が表 示されたら、次の手順を実行してください。症状が改善 される場合があります。</li> <li>①を押して、モニターの電源を切ります。</li> <li>MODE を押しながら ①を押してモニターの電源を 入れます。 設定メニューの「インフォメーション」のメニュー タイトルに「x」が表示されます(「7-3. モニター情 報を表示する」(P.36)参照)。</li> <li>コンピュータを再起動します。 設定を元に戻す場合は、手順1~3を再度実行しま す。</li> </ul>			
・ 電源ランプが点滅:橙色	・ DisplayPort接続している機器に問題があります。問題を 解決し、モニターの電源を入れなおしてみてください。 詳細は出力機器の取扱説明書を参照してください。			

症状	原因と対処方法			
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく 入力されないときに表示されます。			
<ul> <li>入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。</li> <li>例:</li> <li>DVI</li> <li>信号エラー</li> </ul>	<ul> <li>コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、 垂直走査周波数になっていますか(セットアップマニュ アル「対応解像度」参照)。</li> <li>コンピュータを再起動してみてください。</li> <li>グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な 設定に変更してください。詳細はグラフィックスボード の取扱説明書を参照してください。</li> </ul>			

# 6-2. 画面に関する症状(デジタル、アナログ共通)

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<ul> <li>・設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください。(液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。)</li> </ul>
2. 文字がぼやけて見える	<ul> <li>コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか(セットアップマニュアル「対応解像度」参照)。コンピュータの設定を変更する方法については、当社のWebサイトを参照してください(www.eizo.co.jp)。</li> <li>推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。設定メニューの「スムージング」および「画面サイズ」で調整してみてください(「文字や線のぼやけを直す」(P.18)、「画面サイズを切り替える」(P.19)参照)。</li> </ul>
3. 残像が現れる	<ul> <li>この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。</li> <li>長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。</li> </ul>
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは 点灯しないドットが残る	<ul> <li>これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。</li> </ul>
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡 が消えない	<ul> <li>       ・ 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。     </li> </ul>
6. 画面にノイズが現れる	・ HDCPの信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。

# 6-3. 画面に関する症状(アナログのみ)

症状	原因と対処方法		
1. 画像がずれている	<ul> <li>・設定メニューの「ポジション」で画像の位置を合わせて ください(「表示位置のずれを直す」(P.17)参照)。</li> <li>・グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位 置を変える機能があれば、その機能を使用して調整して ください。</li> </ul>		
<ol> <li>次画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ol>	・設定メニューの「クロック」で調整してみてください (「縦縞を消す」(P.16)参照)。		
3. 画面全体がちらつく、にじむように見える	<ul> <li>・設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください (「ちらつきやにじみをとる」(P.17)参照)。</li> </ul>		

. . . . . . . . . . . . . . . . . .

# 6-4. タッチパネルに関する症状

症状	原因と対処方法			
1. タッチ操作が効かない	<ul> <li>モニターとコンピュータがUSBケーブルで接続されている</li> </ul>			
	ことを確認してください。			
	<ul> <li>・モニターおよびコンビュータの電源コードのアースが接地 キャズいることを確認してください。マースが接地されて、</li> </ul>			
	これていることを確認してくたさい。アースが接地されていたいと、誤動作の原因とたろことがあります。			
2 タッチ位置とカーソル位置がずれる/カーソル	<ul> <li>・ セットアップマニュアルに記載のケーブルでモニターとコ</li> </ul>			
が飛ぶ	ンピュータを接続してください。変換アダプタなどを利			
	用すると、タッチパネルが正しく動作しない場合がありま			
	す。			
	・モニターの電源を入れなおしてみてください。			
	<ul> <li>         ・          ・          ・</li></ul>			
	されていることを確認してください。アースが接地されて			
	いないと、誤動作の原因となることがあります。			
	<ul> <li>モニターの位置や角度を変更すると、カーソルが飛ぶ場合</li> </ul>			
	があります。			
	・ ダッナハイルか汚れていると、 決動作9 る場合かめります。			
	ングをおこなってください。			
	<ul> <li>パネル面のクリーニングに帯電防止剤入りのクリーナを使</li> </ul>			
	用するとタッチパネルの感度に影響し、カーソル位置がず			
	れる原因になることかあります。 コンピュータやエニターのお動時、たとびUSDケーブルの			
	・コノビューダやモニダーの起動時、ゐよびUSBグーノルの 接続後 5秒間はタッチーたいでください。カーソル位置			
	がずれたり、タッチ操作が効かなくなる場合があります。			
	その場合は、およそ2分間タッチパネルに触れずにおく			
	か、モニターの電源を入れなおしてください。それでも改			
	善しないときは、再度キャリフレーションを実行してくた キロ、			
	<ul> <li>・モニターの画面サイズを切り替えると、カーソル位置がず</li> </ul>			
	れる場合があります。画面サイズを切り替えた場合は、再			
	度キャリブレーションを実行してください。			
	・ 推奨解像度以外の解像度で表示する場合、グラフィックス			
	ホードのスケーリンク機能の影響でタッチ位置とカーソル 位置がずれることがおります。その担合はガニフィックス			
	12000000000000000000000000000000000000			
	ケーリングからモニターのスケーリングに変更してくださ			
	い。設定を変更した後に、もう一度キャリブレーションを			
	実施してください。			
3. カーソルがタッチ位置に表示されず、モニ	<ul> <li>・再度キャリブレーションを実行してください。</li> </ul>			
ターの中央を中心に 品対称の 位直に 表示 され る				
 4. キャリブレーションが正しく動作しない	・ いったん調整状能をリセット(Windowsコントロールパ			
	ネルの「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」の「画			
	面」タブで「リセット」をクリック)して、再度キャリブ			
	レーションを実行してください。			
	<ul> <li>WINDOWSコントロールバネルの「タフレットPC設定」/</li> <li>「Tablet PC設定」の「画面」タブで「セットアップ」が</li> </ul>			
	· IdDiel「C設定」の「画面」ダブで「セットアック」か 完了した後に一度「タブレットPC設定」を閉じ、もうー			
	度「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」の「画面」タ			
	ブを開いてキャリブレーションを実行してみてください。			
5. タッチ音が鳴らない	<ul> <li>この製品はタッチ音には対応していません。</li> </ul>			

# 6-5. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	・操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてく ださい(「3-4. 操作ボタンをロックする」(P.21)参 照)。
2. 設定メニューにおいて、「画面調整」の「ス ムージング」が選択できない	<ul> <li>次の表示解像度や設定の場合は、スムージングを選択する ことができません。</li> <li>解像度が1920×1080の場合</li> <li>- 画面サイズが「ノーマル」の場合</li> </ul>
3. 自動調整機能が動作しない	<ul> <li>自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。</li> <li>この機能はWindowsなど表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。</li> <li>一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。</li> </ul>
4. 音声が出ない	<ul> <li>ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。</li> <li>音量が「0」になっていませんか。</li> <li>コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。</li> <li>DisplayPort入力時は「音源」の設定を確認してみてください(「3-2. DisplayPort信号入力時の音源を切り替える」(P.20)参照)。</li> </ul>

# 第7章 ご参考に

# 7-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム(またはオプションスタンド)に 取り付けることが可能になります。

#### 注意点

- ・取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- ・他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものを選択してください。
  - 取付部のネジ穴間隔: 100mm×100mm
  - プレート部の厚み: 2.6mm
- 許容質量:モニター本体の質量(スタンドなし)とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- ・他社製のアームまたはスタンドを使用する場合、取り付けには次のねじをご使用ください。
- 本体部分とスタンドを固定しているねじ
- ・アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲(チルト角)で使用してください - 上90°(横表示時 / 時計回り90°に縦表示時)
- ・縦置きに設置する場合は、モニター画面を時計回りに90°回転してください。
- ・ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- ・取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- ・モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

# 取付方法

# **1.** パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル 面を下に向けて置きます。

# 2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじを取り外 します。

# **3.**モニターにアーム(またはスタンド)を取り付けます。

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。



#### 参考

- LaidBack Stand(レイドバックスタンド)の場合、縦置きに設置するときは次の手順でモニターの底面の脚を 取り外してください。
  - 1. 脚のカバーを取り外します。



2. 本体部分と脚を固定しているねじを取り外します。



3. 次の図のように、モニターの外側に向かってスライドして脚を取り外します。



4. 穴をふさぐため、付属のシールを貼ります。・取り外した部品は大切に保管してください。

# 7-2. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例: LaidBack Stand (レイドバックスタンド)



# ● 入力信号を切り替える

SIGNALを押すたびに入力信号が切り替わります。 画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



.....

# ● 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示しま す。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作ボタンの SIGNAL で表示させたい入 力信号を選択してください。

### 設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「入力信号」を選択し、ENTERを押します。
- 3. ▲または▼で「オート」または「マニュアル」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

#### 参考

・「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニター の省電力機能が動作します。

# 7-3. モニター情報を表示する

製品名、製造番号、使用時間、解像度、入力信号を表示します。

#### 設定方法

1. 設定メニューの「インフォメーション」を選択し、ENTERを押します。 「インフォメーション」が表示されます。

#### 注意点

・工場での検査のため、最初にモニターの電源を入れたときに使用時間が「0」ではない場合があります。

# 7-4. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているアナログ信号のタイミングは次のとおりです。

### 注意点

- ・接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、設定メニューで画面の調整が必要になる場合があり ます。
- ・一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、設定メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- ・インターレースの信号は、設定メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

		周波数			極性	
解像度	対応信号	ドットクロック :MHz	水平:kHz	垂直:Hz	水平	垂直
$640 \times 480$	VGA	25.18	31.47	59.94	負	負
$640 \times 480$	VESA	31.50	37.86	72.81	負	負
$640 \times 480$	VESA	31.50	37.50	75.00	負	負
$720 \times 400$	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09	負	正
$800 \times 600$	VESA	36.00	35.16	56.25	正	正
800  imes 600	VESA	40.00	37.88	60.32	正	正
$800 \times 600$	VESA	50.00	48.08	72.19	正	正
800  imes 600	VESA	49.50	46.88	75.00	正	正
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00	負	負
1024 × 768	VESA	75.00	56.48	70.07	負	負
1024 × 768	VESA	78.75	60.02	75.03	正	正
1280 × 720	CEA-861	74.25	45.00	60.00	正	正
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00	正	正
$1280 \times 1024$	VESA	108.00	63.98	60.02	正	正
$1280 \times 1024$	VESA	135.00	79.98	75.03	正	正
$1680 \times 1050$	VESA CVT	146.25	65.29	59.95	負	正
$1680 \times 1050$	VESA CVT RB	119.00	64.67	59.88	Ē	負
1920 × 1080	CEA-861	148.50	67.50	60.00	Ē	正

# 第8章 用語集

# DDC/CI (Display Data Channel / Command Interface)

VESAによって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりする ための国際規格です。

# **DisplayPort**

パソコンや音響、映像機器などをモニターに接続する次世代デジタルAVインターフェースです。1 本のケーブルで映像とともに音声も伝送できます。

# **DVI** (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレ クトに伝送できます。

伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-D コネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

# **DVI DMPM** (**DVI Digital Monitor Power Management**)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン(オペレーションモード)とアクティブオフ(省電力モード)が必須となっています。

# HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。 DVIコネクタやHDMIコネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し 入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。 出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっ ています。

# sRGB (Standard RGB)

周辺機器間(モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど)の「色再現性、色空間」を統 ーする目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、 インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

# TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

# **VESA DPM** (Video Electronics Standards Association - Display Power Management)

VESAでは、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ(グラフィックスボード)側からの信号の標準化をおこなっています。DPMはコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

# 色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K:Kelvin(ケルビン)で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。 5000K:やや赤みがかった白色 6500K:昼光色と呼ばれる白色 9300K:やや青みがかった白色

# 解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させていま す。この機種の場合は横1920個、縦1080個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、 1920×1080の解像度であれば、画像は画面全体(1対1)に表示されます。

# ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ 特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラス トが強くなります。

### クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示す る際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する 必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常で ない場合は画面上に縦縞が現れます。

### ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光 を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ(量)をそれぞれ調整す ることによって、色調を変化させることができます。

# フェーズ

アナログ信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミング を調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこな うことをお勧めします。

### レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。 SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する 規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、 RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。 ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、 Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。 その他の各会社名、各製品名は、各社の登録商標または商標です。

# ライセンス / 著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボール ドを使用しています。

# VCCI

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置 がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱 説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

また、製品の付属品(ケーブルを含む)や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術 基準に適合できない恐れがあります。

# その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格 を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあ ります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JISC61000-3-2に適合しております。



03V27536D2 UM-FDF2121WT-A